

令和元年度 コミュニティ・スクール情報交換会（令和元年9月10日）

<講話> 男鹿市教育委員会 教育長 栗森 貢

「コミュニティ・スクールで高める地域の教育力」

○コミュニティ・スクール4年目の挑戦

- ・「学校の教育目標や目指す子どもの姿を具現化するために」という目的を失ってはいけない。
- ・「熟議」「協働」「マネジメント」の機能を大事に。
- ・“ふるさと教育&地域の素材&地域の人材&児童・生徒&教職員&保護者&時間”の関連を考え目的を明確にする。

○コミュニティ・スクールを効果的に機能させる鍵

- ・学校運営の質の向上（学校運営）
→どんな子どもに育ててほしいのか、そのために何ができるのか熟議・協働する。
- ・学校教育の質の向上（学校支援）
→地域の人や保護者がボランティアとして学校美化や諸活動に参加する。
- ・学校を核とした人づくり・地域づくり（地域貢献）
→子どもたちが地域の行事に参加したり、ボランティア活動に参加したりする。

※講話より一部抜粋



<実践発表> 小学校5校、中学校3校 ※脇本第一小、男鹿東中は、前回発表済

テーマ 「おらほのコミュニティ・スクール」

CSがスタートして4年目。取組の中で「おらほのCSは、こんなところがすばらしい」「他にはない、こんな取組をしている」など、各校がCSの良さをアピールしました。

- 【船川第一小学校】保存会の協力を得て、盆踊り「ダダダコ」を運動会種目に。地域ぐるみで盆踊りの継承に取り組んでいる。
- 【船越小学校】学校サポーターには保護者も登録。船越小PTAを卒業した「元保護者」の登録も有り。図書ボランティア、ミシンボランティア、竹林剪定作業等の学校支援を実施。
- 【北陽小学校】ナマハゲをメインにふるさと教育を展開。柴灯祭りで、子どもたちが作成したパンフレット配付。子どもたちの自己有用感がアップ。
- 【払戸小学校】地域の方の協力を得て、菜園活動（サツマイモ、だだちゃ豆）、防災教室、ラジオ体操（チャレンジデー）等を実施。菜園活動を中心に、勤労の精神を育てている。
- 【美里小学校】地域貢献活動として、宮沢海水浴場のクリーンアップを実施。今年は、野石地区の方々の参加も有り。子どもたちの地域の一員としての自覚が育っている。
- 【男鹿南中学校】南中CS、かねがわ畑、市生活安全課の三者による「給食の生ごみ堆肥化プロジェクト」を実施。菊芋、ジャガイモ、サツマイモの栽培活動にも取り組んでいる。
- 【男鹿北中学校】地域人材を積極的に活用。地域の方が先生となって、地域を学びの場として、太鼓教室、海岸清掃・着衣泳・マリンスポーツ等を実施している。
- 【潟西中学校】地域の方々を学校に招く行事により、生徒の地域への関心度がアップ。地域行事への参加の呼びかけ方を工夫して、地域行事に参加する生徒が増えた。

